



第76次1期教研「分科会ウィーク」開催される！②

前号(NO.20)からの続きです。

教育条件整備の運動開催日時;6月18日(木)18:30~

8月の事務職員部のセクション交渉に向けて、学校予算の増額や保護者負担軽減について話し合い要求書の内容について検討しました。主な要求項目です。

- ①標準運営費を減額前の水準に戻し、さらに物価高騰分を増額すること。
- ②バス代が高騰し、保護者負担は2年前から2~3倍になっている。社会見学バス代の補助額を増額すること。
- ③バス代高騰で、資金前渡金の教員分のバス代も不足している。増額すること。
- ④ICT関係の物品代やソフト代、タブレットの修繕代が増加している。またドリルアプリも保護者負担である。教育情報化推進課出予算を確保すること。
- ⑤特別支援教育の充実のため、特別支援教育課で予算を確保すること。
- ⑥中学校給食にかかる洗剤等消耗品費は、中学校予算でも支出できるようにすること。
- ⑦感染症予防や熱中症予防のための物品購入の予算を確保すること。
- ⑧学校は老朽化して維持が困難である。施設課の維持補修費・その他役務費を増額すること。
- ⑨限られた予算を有効に活用するため、定期予算流用の回数を増やすこと。特別流用をできる限り年度末まで受け付けること。
- ⑩人権(派遣)の負担金の予算が減らされ、4年前の半額になっている。教職員の学びの権利を保障するためにも増額すること。
- ⑪給食費(中学校)無償化、公会計化の進捗状況を明らかにすること。
- ⑫物価高騰対策等による賃上げで、就学援助の所得制限を超え、就学援助が不認定になった世帯がある。生活水準は変わらないため、校納金が払えず未納となる。社会情勢に合わせて所得制限の額も引き上げること。



ジェンダー平等をめざす教育開催日時;6月19日(金)18:30~

1. 今年度の日程確認及び定例学習会報告
2. 資料紹介、交流

※ 日頃の実践やレポートづくりの視点について交流しました。

○ 身の回りにある意識の見直し

学校で当たり前とされている事を見直す。例えば…図書館。だれもが安心して利用できるか。本当に選びたい本を選ぶことができているだろうか。男子だから、女子だから…と選びにくい思いをしている子はいないか。分けない名簿になっているが、その意味が伝わっているだろうか…等々

○ 教科の学習の中で

社会科の学習で、歴史上の人物は男性が多く、女性が少ないのはなぜか、教科書では、「与えられた権利」と記載されているが、運動により、勝ち取ってきた権利として伝え主権者としての力をつける…生活科や家庭科の学習で、食や労働を通して自立する主体として子どもたちに力をつける

○ 包括的性教育について

新聞記事から性教育を望む保護者の声や月刊 JTU の記事(浅井春夫さんの講演 QR)の紹介、これまで市教組で実践してきた教材の一覧、市教委から出されたいのちの安全教育指導計画等を紹介し合った。

※ 各校で、実践したこと、とりくむ上で課題になってきたこと等を9月の分科会で交流する予定。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

